

# 「少年の主張」田川市大会を 開催しました

令和5年11月11日に田川青少年文化ホールで「少年の主張」田川市大会を開催しました。  
この大会は、中学生に物事を考える力や広い視野を養ってもらう目的で始まり、今年で37回目の開催となりました。



猪位金学園放送部田代詩織さんの進行のもと、市内3中学校から選ばれた7名の代表者それぞれが自身の体験をもとに、自ら考え、今後の人生にいかしていく思いなどを自分の言葉で発表しました。最優秀賞を田川西中学校の内陽愛里さん、優秀賞を田川東中学校の毛利羽希さんが受賞し、令和6年2月18日(日)開催の田川地区大会に出場します。



田川西中学校 2年生 内 陽愛里さん



田川東中学校 2年生 毛利 羽希さん

## つながる心を目指して ～私にできること～

内さんは、家族が受けた差別やニュースで報じられるコロナ禍における偏見から、「人は自分の知らないことや関わりが無いことに対して偏見や差別心を持ってしまう」と気づきました。その上で人との関わりを大切に、意識を変えるために学ぶことで、偏見を持っていた人とも心がつながり、『差別』や『偏見』という壁を取り除くことができるのではないかと主張しました。

## 自分のために、そしてみんなのために

毛利さんは、他者が感情に動かされている姿を見て自分も感情が感染してしまう「情動感染」という言葉をお母さんに教えてもらいました。言葉を知った際、文化発表会での経験を思い出し、ネガティブな感情ほど人に伝染しやすいのではないかと考えました。その考えに対し自分のために、そしてみんなのために「一生懸命頑張ろう」と一人ひとりがポジティブな気持ちを持ち、意識して少しずつでも行動に移すことができれば、情動感染で感情が広がるように団結できるクラスになるのではないかと主張しました。

GuRuMi: ③

# 小学生も中学生も 「表現力」・「発信力」がLevel Up!!

## 第3回 田川市自由研究プレゼンテーション大会 (令和5年9月30日)

田川市では、情報活用能力（情報収集力・情報整理力・情報発信力等）の育成をめざして、令和3年度からプレゼン大会を開催しています。今年度は、市内小学校から16組の児童が参加し、夏休みに取り組んだ自由研究や学校で学習したことを自作のスライドを用いて発表しました。自分が調べたことを堂々と発信したり、聞き手に分かりやすく伝えるように身ぶり手ぶりを加えて表現したりする姿からは、「自分の考えをしっかりと伝えたい」という熱い思いが伝わってきました。

中村学園大学の山本朋弘教授からは、「年々子どもたちのプレゼン力が高まっていますね。」と高評価をいただきました。



▲山本教授



## 第6回 中学生英語スピーチコンテスト田川市大会 (令和5年10月27日)

田川市では、グローバル社会で活躍する人材の育成をめざして、平成30年度から英語スピーチコンテストを開催しています。今年度は、市内中学校から12名の生徒が参加し、「課題の部（あらかじめ決められた英作文）」や「自由の部（自分でつくった英作文）」において、表情豊かに英語でスピーチをしました。スピーチ後には審査員と英語でやりとりをするなど、英語におけるコミュニケーション能力の高まりを感じました。

青山学院大学の飯田敦史准教授からは、「英語の発音やイントネーションが上手だけでなく、Attitude（伝える意欲・態度）が素晴らしいですね。」と高評価をいただきました。



▲飯田教授



GuRuMi: ②